



今回は、市民目線で「桜井のとおき」を選んだ「大和さくらい100選」の中から、桜井市金屋にある「仏教伝来の地碑」あたりに行ってきたよ。

6世紀ごろ、金屋の河川敷公園あたりに、百済から仏教が公式に伝えられたとされていて、ここには『仏教伝来の地碑』が建てられているよ。

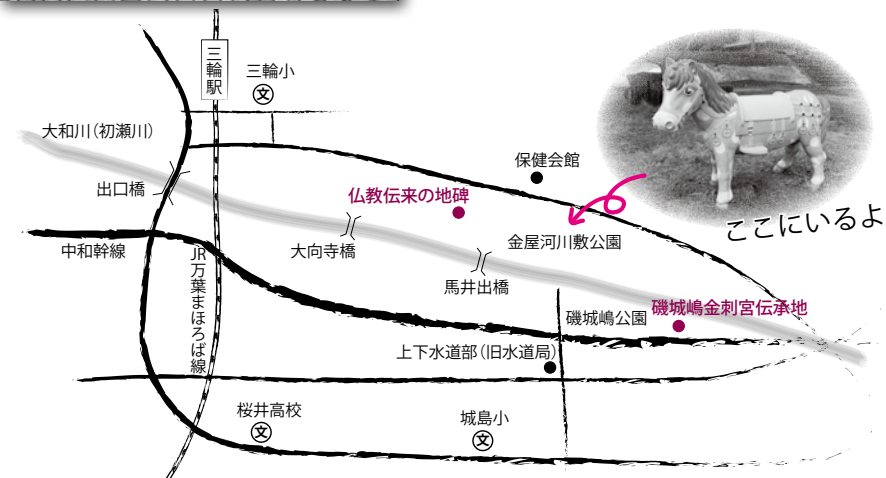


かつて、このあたりは海柘榴市と呼ばれ、男女が集まってお互いに歌を詠み交わす歌垣^{うたがき}をしたりして求婚（プロポーズ）したところなんだって～。公園内には、海柘榴市の歴史上の出来事を説明したものや、この地で詠まれたとされる万葉集の歌などを紹介したものもあるよ！



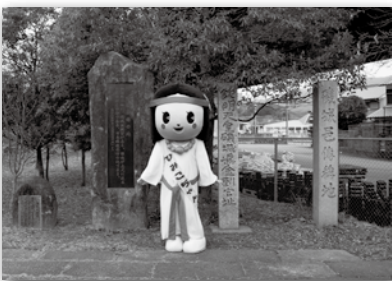
地碑の対岸には「遣隋使節帰国の図」もあるよ。

このあたり一帯は、9月に行われる「大和さくらい万葉まつり」の会場となっているところなんだよ。



日本書紀によると、難波の津（大阪）に帰国した遣隋使が川船で大和川を上がって海柘榴市に戻った際に、飾り馬を置いてお迎えしたとされているよ。だからこの場所には色鮮やかな馬が飾られているよ。一度訪れてみてね！

近くには、「磯城嶋公園」があって、6世紀に欽明天皇がこのあたりに「磯城嶋金刺宮」を置いたとされているよ。



平成の海柘榴市



歌垣火送り

2月号の「ひみこちゃん 記紀万葉の地を訪れる - その9 -」の興喜天満神社についての記述の中で、「お祭りの日には徳川家光が奉納した古神輿が門前町をお渡りしている」とありましたが、現在は、新しい神輿で門前町をお渡りしています。「将来、この古神輿も復活させたい」とのお話がありました。訂正してお詫びします。

「ひみこちゃんのページ」

<http://www.city.sakurai.lg.jp/himiko/index.html>

観光まちづくり課（☎ 42 - 9111 内線 348）

E-mail : kanko@city.sakurai.lg.jp

twitter @himiko__chan

【観光まちづくり課】